日学連アゴラ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2022年9月15日号

関西学生卓球連盟

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　副会長　久保　陽

ルールとマナーとモラルについて

どんなスポーツにもルールがあります。

大学学生生活にもルールがあります。大学のルール、部活動のルール、日常生活のルールが存在します。

しかしすべてルールブックに載っているわけでないので、少し逸脱して、自分都合で勝手に判断して、時には他人に迷惑をかけることがあります。

そこで必要となるのが、人間力としてのマナーとモラルと思います。

マナーとは、人と人との関わりで当然その場面でしかるべきとされる行儀・作法のことを指します。食事の時に食べ方マナーが悪いなどによく使われますが、食事だけでなく多くの場面に存在し、それを守らない者はその人の品格を疑われ、場合によってはその場を退場させられるなどの社会的制裁を受けます。

また、これは他人が見ているときの行為ですが、大切なのは誰も居ない場合でも、どのように考え行動するか、であると思います。

それがモラル（道徳・倫理）であり、人に対する思いやりを持った言動や、良心に従った善良な行動を起こすために守るべき基準を意味する言葉です。

子供のころはルールもマナーもモラルもわからなくても、正当化するためウソをついても許されてきましたが、社会人ではそうはいきません。社会に出るにあたり大学はそれを学ぶ最後の教育現場です。卓球を通して多くのことを学んでほしいと思います。

最後に私の母校のアピールになりますが、良心に従った行動への「良心教育」が同志社の建学の精神です。同志社大学正門近くに「良心碑」があります。

